

えほん

『もりのなか』

(マリー・ホール・エッツ/文・絵福音館書店) [エホン/I]

ぼくは、ぼうしをかぶり、ラッパをもって、もりへさんぽにでかけました。 すると、ライオンがひるねをしていました。



1・2ねん

『もりのへなそうる』

(わたなべしげお/作 やまわき ゆりこ/絵 福音館書店) 913/り てつたくんとみつやくんの兄弟 は、森の中で「へなそうる」というくいしんぼうなかいじゅうにであい、いっしょにあそびました。



ほかにも こんな ほん

『もりのせんたくやさん』(えほん)

(矢部美智代/作 田頭よしたか/絵 フレーベル館) エオン/タ

『森ねこのふしぎなたね』(1・2ねん)

(間瀬みか/作 植田真/絵 ポプラ社) 913/マ

『こぎつねルーファスのぼうけん』(1·2ねん)

(アリソン・アトリー/作 岩波書店) 99/7

『森の顔さがし』(3・4章)

(藤原幸一/写真・文 そうえん社) エホン/フ

『北の森の十二か月』(3・4学)

(ニコライ・スラトコフ/文 福音館書店) 48/3

『森の診療所ものがたり』(5・6年)

(竹田津実/作 岡本順/絵 偕成社) <u>913/</u>9

『いとの森の家』(5・6堂)

(東直子/著 ポプラ社) 913/比

